

夕刊東北新報

本報は、昭和五年三月十日創刊。発行所、石城郡平野町。印刷所、石城郡平野町。電話、東北日新新聞社。東北日新新聞社。

社説

平魚市場が、二分割戻しの公約を果さなかつたことから端を発して、遂に純情な石城鮮魚商組合員を反逆せしむるに至つた。その奮起が、總意の決議となり、一團の結束となり、活動となるに及んで平劇場跡に共同販賣所が生れやうとしてゐる。

みるこが出来るのである。殊に百數十名の組合員の生活経済を支配する問題である限り、市民が何割かの安い鮮魚を食購にすることが出来る限り、対立といふ公正なるそれ自身に批判し得るやうな存在である限り、於ては、手を擧げて歓迎すべきである。

舊惡露顯して

犯罪成立と見るや

突然行方を探らます

問題の平局桑原書記補

昨報通信省判任官桑原庸夫で法律の心得もあり脱法行(三八)に係る横領事件は犯爲をほころが如く犯行を自ら行が六ヶ月前で時効期間満了したところ豫期に反して三ヶ年はすでに経過し犯罪遂に横領罪に問はれるに至るが成立しないものと傳へられたものであるが同人は犯行は九ヶ年を経過しなげ行方を探らましたので平署に完全犯罪が成立する譯るが

磐城佑賢學舎

男女卒業生一〇三名

二十日卒業證書授與式

私立磐城佑賢學舎第十七回普通科卒業生卒業證書授與式は来る二十日午前九時より同校に於て舉行されるが卒業生氏名は左の如し

- 阿部義長、稻葉勝藏、岡本良太郎、大平正男、小野原、小川善佐、上遠野丈夫、上遠野一枝、木村忠男、菊地健英、草野政雄、熊澤左司、草野正三、柳山弘、小泉勝夫、小林武義、小泉高正、佐藤博酒井敏雄、下河部仙二郎、下藤正、白土光一、鈴木將夫、高橋兵吉、永山一三、長沼英夫、新妻忠、箱崎孝一、林忠行、満山喜一郎、村山三男、山本宗太郎、山野邊勝男、吉田耕三、渡邊新吉、渡邊富實、渡邊辰明、智竹代、大友ミヤ子、大平トヲ、明知シゲ、金澤オクヨ、木村イチノ、下河邊マサ子、奥井常子、小野静枝、平樂タマヨ、高木玉子、根本濱子、野木千佐子、芳賀スミ、松本文子、吉田キヨ
- 以上合計五十三名

桑原は大正十三年六月から當局に奉職したもので事務は機敏に處理してゐた度々病氣と稱して休むことはあつたが落度もな今日まで勤務して来たものである今回の問題で本人から 辞表は出てゐない十八日は出勤してゐるが綱紀肅正の執りでもあらから局としては適當の處置を採る

石城郡平野町子自動車部運轉手同町四三片山政春(二〇)が十七日午後七時ころ内郷村榎木下地内國道を疾走中前方にて停車してゐた鈴木自動車を追ひ越さんとした刹那同自動車の乗客小島村生れ當時石城郡赤井村西小川福島炭礦五長屋佐藤今朝吉(五八)で盗品は娘の宅に隠匿してあつたこと

諸橋久太郎氏逝く

病氣療養中昨夜午後八時

平町五丁目釜屋商店主諸橋久太郎氏は永らく健康を害し自宅で療養中であつたが昨十八日午後八時遂に永眠した

諸橋家は福島縣下著名の舊家であり屈指の素封家でもあり累代金物商として石城地方唯一の商業家であつた。故久太郎翁は文久三年十二月六日に生れ若年十七歳にして先代久右衛門氏の死去に逢ふや斷乎として遺業を繼續し勤儉力行孔々營々として飽までその卓越せる才幹はめき／＼と諸橋家の基礎を磐石の上に建設し勲を加へ發展と共に新しい商略を案じ絶倫な力力は空しからず時代の

父久太郎儀病氣の處療養不相叶三月十八日午後八時死去仕候間此段御通知に代へ謹告仕候

追而來る二十一日午後一時自宅出棺平町九品寺に於て告別式相營み申可候

昭和五年三月十九日

諸橋 守治 元三 久四郎 唯次郎 阿部 敬三 諸馬 敬三 坂本 敬三 馬本 敬三 鈴木 敬三 山崎 敬三

親戚惣代 友人惣代

水野藥局

體温計 寒暖計 電話

壹箱二十本入金拾五錢 御用命は一丁目

磐城佑賢學舎

男女卒業生一〇三名

二十日卒業證書授與式

鮮人を殴り

逃走中逮捕

石城郡赤井村高萩小玉川水力發電所工事細村飯場土木朝鮮人中島五郎(二〇)は十七日午前七時五十分ごろ中

祝本一週年

古河鑛業株式會社

好間鑛業所

小田吉治

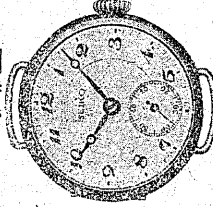
復活生徒募集

第壹學年 百五十名
第二學年 若干名

規則書申込次第進呈
私立磐城青年學舍

先づなめて見て舌つゞみミルク哉
良薬も口に甘きは淺田飴
お化粧は婦人のたしなみコンパクト
野に山に觀劇に旅にコンパクト
ホマードをつけたで今日はモホにされ
朝まだき夜晩くまで奉仕第一尚美堂
平町田町通り
尚美堂藥店
塗料中コールドールは容器と
塗ハケをお貸し致します

●新學期とセイコー時計の値下げ斷行
▲殊に景品付特賣▼
▲景品總額金十二萬圓也▼



●時計と蓄音器と信用ある精工舎製品を
景品ハ一等ヨリ全部店頭ニ
陳列致してあります

平三 大谷時計病院
電話十九番

萬人の嗜好に適す

芳香豊なる洋酒
芳醇なる名酒末廣
ボタン自慢の洋食
平町四丁目
迅速高級食堂 ボタン
電話八五四番

回特賣

たひら正宗 福島縣清酒品評會
一等賞受領
花春 同優等賞受領
塩屋最上醬油醸造元

山崎合名會社
平町土橋 電話一〇番二七番
東京上野車坂四三

東京支店
電話下谷五七二番

漆器の御用命は

是非和久井屋へ……
電話四〇五

……◀行興大別特期短(間日二)日十二。日九十月三▶……

ラスチマ 演主(者ヨギのオヂニエチンモ名原)作大の度一年十社ガルトツビ大

熱狂のアステア

演熱・競一ヤツイフタツリガーマ 画映大弗萬百ニルサーアヴニユ大

ソクストロウツア

館平 設常級高 ○七等特 ○五等壹 ○三通普 料場入

サロンのバーには

何昨も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理を御献立をし
て御座います。ドーゾ御試食を

美味でさもちよいサロン
評判のさもちよいサロン
田町松月隣り
男女給仕八數名募集
電話二五二番

喫茶の店

パーラークララ

洋菓菓子パン
前驛平
店ンバ藤遠
番六七話電

生徒募集

募集人員
本科第一部 二ヶ年卒業 五十名
本科第二部 二ヶ年卒業 五十名
技藝高等科 一ヶ年卒業 三十名
同 専攻科 一ヶ年卒業 三十名
入學資格
高等二年卒業若クハ之レト同等
以上ノ學力ツ有スルモノ但シ本
科第二部ノ卒業生ハ特ニ第二學
年ニ編入ス
尋常小學校六年卒業若クハ之レ
ト同等以上ノ學力アルモノ同
以上ノ學力ヲ有スルモノ但シ
高等小學校ヲ卒業シ相當ニ裁縫
ノ素養アル者ハ詮衡ノ上ニ二年ニ
編入ス
本校各科學業生
高等女學校及實科高等女學校ヲ
卒業シタルモノノ專門學校入學檢
定ニ依ル試驗檢定合格者
入學手續
右各科共入學ヲ許可ス希望者ハ入學願書
ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出
ノコト
▲四月四日午前十時入學式舉行
▲學則請求ノ方ハ郵券二錢ヲ送ラレタシ
福島縣平町
文部大臣認可 平陽女學校
電話四四五番

家傳 東京 峰岸淋丹 分舖

リン病消カチの妙藥
一週間分金二圓七十錢 二週間分金五圓 三週間分金七圓
御申込次第密送す
平町南町火の見下